

事務連絡
令和6年6月11日

各都道府県・指定都市教育委員会指導事務主管課
各都道府県私立学校主管課 御中
各国立大学法人附属学校事務主管課

文部科学省初等中等教育局
参事官（高等学校担当）付
産業教育振興室

建設業若年者理解・定着促進事業（つなぐ化事業）の周知について（依頼）

平素より産業教育の振興に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

この度、厚生労働省職業安定局建設・港湾対策室より、別添のとおり、若年者の建設業に対する理解や入職促進を図ることを目的として、昨年度に引き続き、意見交換会や出前授業などを通して高等学校の生徒・教師等と建設業界がつながる機会を設ける事業（建設業若年者理解・定着促進事業（「つなぐ化」事業））を実施することから、本事業の周知及び参画の協力依頼がありました。

つきましては、本事業について御了知いただくとともに、都道府県教育委員会においては、所管の学校及び域内の高等学校を設置する市町村教育委員会に対し、指定都市教育委員会においては、所管の学校に対し、都道府県私立学校主管課においては、所轄の学校及び学校法人に対し、附属学校を置く各国立大学法人附属学校事務主管課においては、その管下の学校に対し、このことについて周知いただきますようお願いいたします。

なお、周知に際しては、昨年度取組の事例集もあわせてご活用いただきますようお願いいたします。

事業への参加を希望する場合は下記ホームページへアクセスいただき、御不明な点などございましたら、厚生労働省職業安定局雇用開発企画課建設・港湾対策室建設労働係へ直接お問い合わせくださいますようお願いいたします。

※「つなぐ化」事業 ホームページ（ <https://tsunaguka.mhlw.go.jp/> ）

【本件担当】

初等中等教育局参事官（高等学校担当）付
産業教育振興室産業教育係 03-5253-4111（内線 2384）

職建発 0610 第 1 号
令和 6 年 6 月 10 日

文部科学省初等中等教育局

参事官（高等学校担当）付産業教育振興室長 殿

厚生労働省職業安定局

雇用開発企画課建設・港湾対策室長

（公印省略）

建設業若年者理解・定着促進事業の教育機関に対する周知の協力について

日頃より、職業安定行政の推進にご協力いただきお礼申し上げます。

建設業においては、全就業者に占める若年層の割合が他産業に比べ低いことや、新規高等学校卒業者の入職 3 年後の離職率が他産業より高いことなどから、次世代の担い手の確保が重要な課題の 1 つとなっております。

また、若年入職者の伸び悩みや早期離職の要因として、就職先を決定する過程において、建設業界について知りたい情報を十分に得る機会が少ないことが挙げられます。

このため当省では、若年者の入職・定着促進を図るため、平成 30 年度から「意見交換会」や「出前授業」など、高等学校等の先生・生徒と建設業界がつながる機会を設ける建設業若年者理解・定着促進事業（以下「つなぐ化」事業という。）（別添 1 参照）を実施し、昨年度は工業高等学校等を対象に 148 回の事業を実施いたしました。

つきましては、今年度においても、下記のとおり都道府県教育委員会、市区町村教育委員会並びに都道府県担当部局及びその管下の高等学校等（以下「教育委員会等」という。）にご周知の上、「つなぐ化」事業へご参画いただくよう、お取り計らいの程お願い申し上げます。

記

○事業の周知・参画について

- ・「つなぐ化」事業の周知に際しては、周知用リーフレット（別添 2）、建設業若年者理解・定着促進事業（「つなぐ化」事業）の活用をお願い（別添 3）、令和 5 年度版「つなぐ化」事業事例集（別添 4）を教育委員会等に周知いただきたいこと。
- ・「つなぐ化」事業への参加を希望する際には、以下のホームページから申し込むよう周知いただきたいこと。

※「つなぐ化」事業 ホームページ (<https://tsunaguka.mhlw.go.jp/>)

〈連絡先〉

厚生労働省職業安定局雇用開発企画課 建設・港湾対策室

建設労働係 洪井 shibui-yuuya@mhlw.go.jp

小島 kojima-kyouko.9j8@mhlw.go.jp

TEL : 03-5253-1111（内線 5804）

建設業若年者理解・定着促進事業（「つなぐ化」）の実施

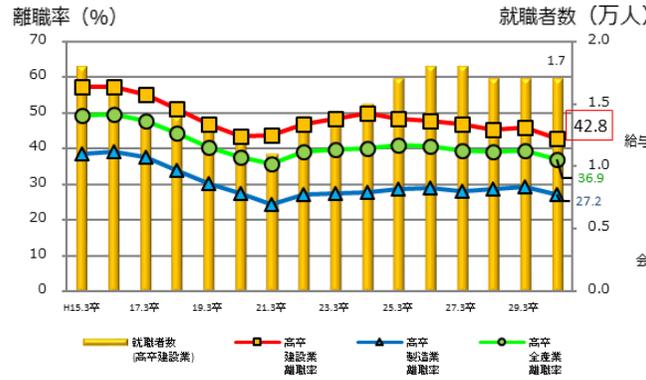
令和6年度当初予算額 28百万円（28百万円） ※（）内は前年度当初予算額

労働保険特別会計			一般会計
労災	雇用	徴収	
	○		

1 事業の目的

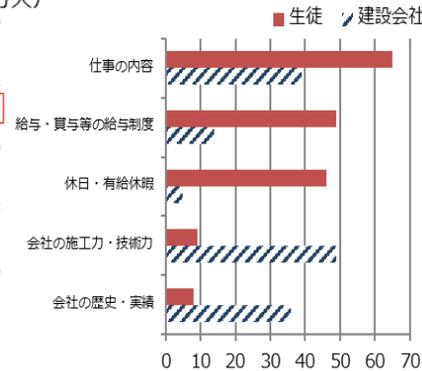
- 建設業においては、他産業と比べ高齢化が進行している中、新規高校卒就職者の就職後3年目までの離職率は常に全産業平均、製造業を上回っている。
- 離職の背景には、就職先を決定する過程において知りたい情報を十分に受けられていないことが挙げられているため、本事業では、若年者と建設業界がつながる機会を提供することで、若年者の建設業に対する理解を深め、職場定着を促進することを目的とする。

＜新規高校卒就職者と3年目離職状況の推移＞



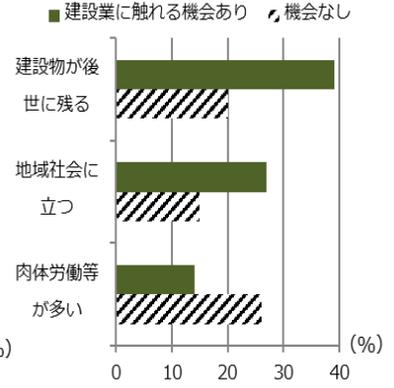
＜文部科学省「学校基本調査」＞
 なお、就職後3年以内の離職状況は、厚生労働省職業安定局とりまとめ

＜生徒が重要・知りたいと思った情報と会社がアピールしたい情報＞

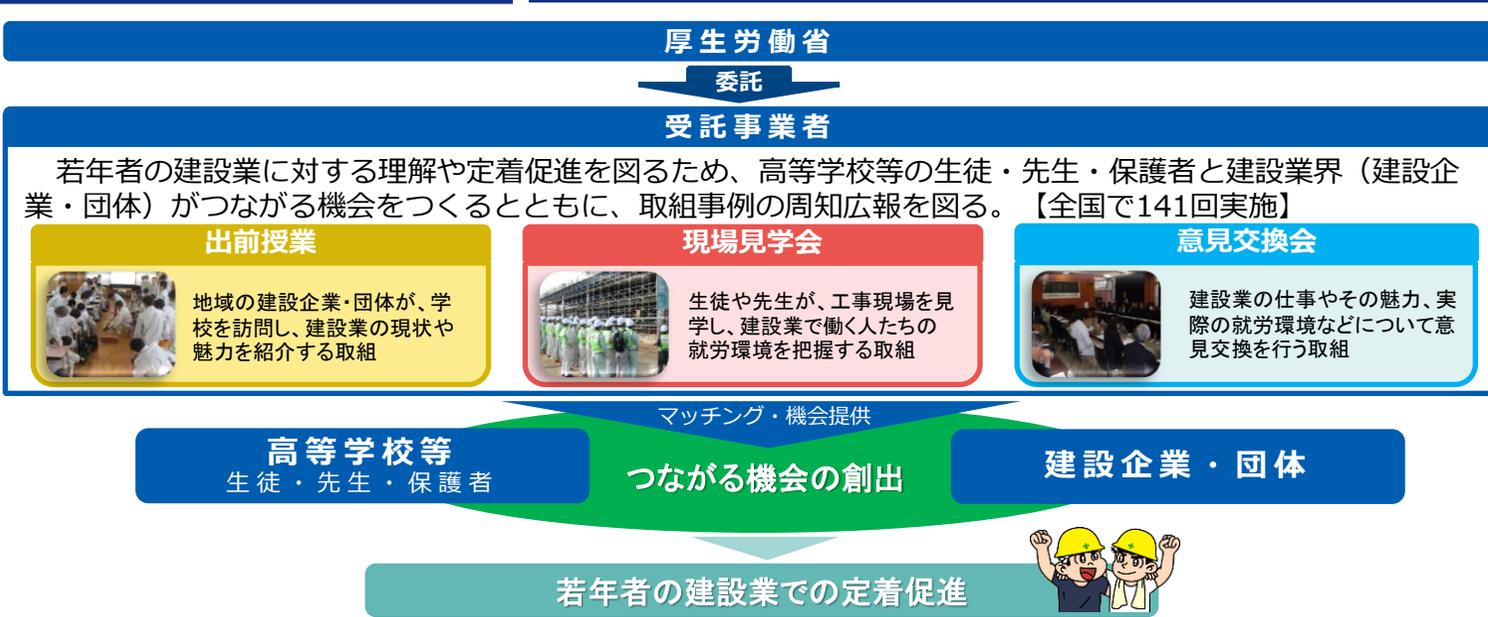


＜国土交通政策研究所「国土交通分野の将来見通しと人材戦略に関する調査研究」（一部抜粋）＞

＜建設業に対するイメージ＞



2 事業の概要・スキーム



3 実施主体等

■ 委託事業により実施

■ R5 事業実績（実施回数）

出前授業	68回
現場見学会	53回
意見交換会	1回
その他(現場実習等)	26回
計	148回

■ KPI（事業目標）

- ・ 実施回数 141回以上
- ・ 生徒等に対する事業参加の前後のアンケート調査において、就職先として建設業に関心を持った人数の増加した割合 46%以上

「つなぐ化」事業

令和6年度 建設業若年者理解・定着促進事業

地域の暮らしを支える建設業の仕事を
未来へ進む若者につないでいきます

出前授業

プロの技を体験



地域の中小建設企業・団体などが学校を訪問し、仕事内容やその魅力について紹介。実際の作業をプロと一緒に体験します。

現場見学会

リアルな現場を体験



地域の中小建設企業・団体などが携わっている工事現場を見学し、実際の仕事内容や就労環境を肌で感じる体験をします。

意見交換会

仕事の「？」を聞く



地域の中小建設企業・団体などと生徒や教員等が一堂に会し、建設業界の現状などの紹介とそれに対する質疑応答によって相互理解を深めます。
(オンライン・ハイブリット開催可能)

その他「インターンシップ」等

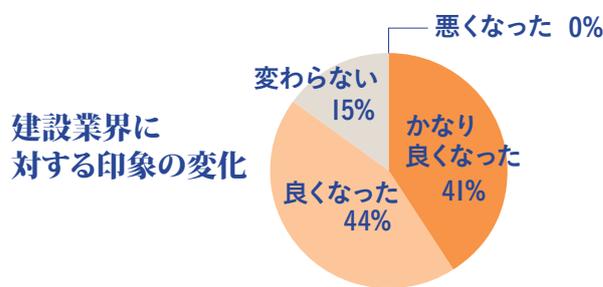
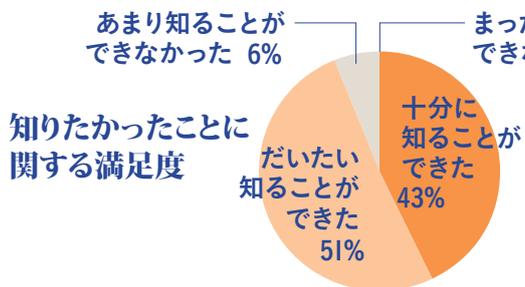
(勧誘等の採用活動や取得した情報の採用選考活動への活用を行ってはいけません。)

事業内容の詳細やお申し込みについては裏面のURL、
二次元コードからホームページをご覧ください。

「つなぐ化」事業とは？

私たちが暮らす社会の土台づくりを担っている建設業。その建設業界の未来をつくっていく担い手を育てるために、生徒の「知りたい」と、建設事業者の「知ってほしい」を結ぶさまざまな機会を創出することで、若年者の建設業への理解を深め、建設業界への入職促進と職場定着を図る事業です。

※昨年度の満足度調査では参加者の94%が「知りたかったことを知ることができた」と回答しています。詳しくは下記HPをご覧ください。



■申込対象者

- 主に地域に密着した建設企業、団体、大手建設会社の協力会構成企業等。
- 高等学校1・2年生と教員、保護者等(専門学校、大学、教育委員会関係者等事業の趣旨に当てはまる方を含みます)。

■お申込み方法

下記の「つなぐ化」事業ホームページにアクセスし、「お申込みフォーム」よりお申込みください。

<https://tsunaguka.mhlw.go.jp>



■お申込みから実施～事後の流れ

- ①「つなぐ化」事業ホームページよりお申込み
- ②事務局より電話或いはメールにてお申込みの確認
- ③事務局より必要書類をメール添付等にて送付
- ④事前必要書類(事業計画書他)をご返送
- ⑤事務局と事前打ち合わせ後正式決定
- ⑥実施

※実施後アンケート等のご返送にご協力をお願いいたします。

<お願い>

- 建設業の理解促進のため、事業実施の様子を事業ホームページや、事例集に掲載させていただく場合がありますのでご理解、ご協力いただけますようお願いいたします。
- 学校側の対象は、生徒・教員のほか、保護者の方々の参加を推進しています。建設業の仕事の内容や働き方などを相互理解する機会を、キャリア教育の1つとしてご活用ください。

□建設キャリアアップシステム(CCUS)のご紹介

国と業界が総力をあげて取り組む、建設業界で働く人を大切に育てるためのシステムです。現場で働いた履歴や保有する資格など、さまざまなキャリア情報を1枚のカードに記録し、技能レベルを可視化します。技能レベルは経験や資格に応じてステップアップします。国と業界では、技能レベルに応じた賃金アップの実現に取り組んでいます。



お問い合わせ先

厚生労働省委託事業「つなぐ化」事業 運営事務局 株式会社 東京リーガルマインド **LEC** 東京リーガルマインド 担当：齋田、久保田

〒164-0001 東京都中野区中野4-11-10 アーバンネット中野ビル TEL : 03-5913-6085(平日10時～17時) E-mail: 2024tunaguka@lec.co.jp

建設業若年者理解・定着促進事業（「つなぐ化」事業）の活用のお願い

日頃より、職業安定行政の推進にご協力いただきお礼申し上げます。

厚生労働省では、若年者の建設業に対する理解や定着促進を図るため、高等学校等の先生・生徒等と建設業界がつながる機会をつくる事業を行っており、主に以下のような取組を行っております。

- ・ 出前授業：建設事業者が学校を訪問し、建設業務や技術を紹介する授業を行う
- ・ 現場見学会：先生・生徒等に建設現場を見学してもらう
- ・ 意見交換会：建設業界の現状について、先生・生徒等と建設事業者で意見交換を行う

上記のような取組の実施を希望される場合、受託者である(株)東京リーガルマインドにお申し込み(※)いただければ、相手方となる建設事業者の選定等、受託者よりサポートを行います。生徒の皆様のキャリア教育などに、是非当事業をご活用下さい。

また、事業実施にあたっては、生徒の就職活動に大きな影響を与える保護者の参加も促しながら取組を進めて参りたいと思いますので、ご理解、ご協力いただけますと幸いです。ご不明点がございましたら、以下【連絡先】の担当者宛ご連絡をお願いいたします。

(※)「つなぐ化」事業への参加を希望する際には、以下のホームページからお申し込みください。

「つなぐ化」事業 ホームページ (<https://tsunaguka.mhlw.go.jp/>)

【活用事例】

授業として活用する事例	
実習（出前講座）	瓦施工、左官、大工、水道設備、生コン試験練り、電気工事、型枠施工、測量、板金、クロス張り、シーリング打ち、ドローン操作 など
現場見学会	施工現場見学
課外活動に活用する事例	
文化祭	生徒が指導を受けながらステージの組立及び解体を実施
就職指導に活用する事例	
会社見学会	地域を支える建設事業者への訪問
インターンシップ	身近な公共施設のベンチ設置やビオトープ造成補助 など
意見交換会	建設事業者を招いてのセミナー、懇談 など

【連絡先】

厚生労働省職業安定局雇用開発企画課 建設・港湾対策室 建設労働係 渋井・小島

TEL：03-5253-1111（内線 5804）

「つなぐ化」事業 事例集

これからも大切な建設業の仕事を
未来へ進む若者につないでいきます

「つなぐ化」事業とは…

私たちが暮らす社会の土台づくりを担っている建設業。

その建設業界の未来をつくっていく担い手をそだてるために、生徒の「知りたい」と、

建設事業者の「知ってほしい」を結ぶ様々な機会を創出することで、

若年者の建設業への理解を深め、建設業界への入職促進と職場定着を図る事業です。

この事例集をご覧ください、次年度のご活用をご検討ください。

① 出前授業

地域の中小建設企業・団体などが学校を訪問し、仕事内容やその魅力について紹介します。簡単な実作業などを行うプログラムもあり、プロの技を間近で見ることができる絶好の機会です。

② 現場見学会

地域の中小建設企業・団体などが携わっている工事現場を見学します。工事の規模や背景、使用機材などを実際に目で見て肌で感じると同時に、仕事内容や就労環境などを知ることができます。

③ 意見交換会

地域の中小企業・団体などと、高等学校などの生徒・教員が一堂に会し、就職や就労環境、建設業界の現状などについて意見交換を行います。学校側からは建設業界への疑問や要望を、建設事業者からは業界が求める人材像などを伝え、相互理解を深める機会となっています。

造園、左官体験とディスカッション



受講生徒

大阪府立東住吉総合高等学校 住環境系列2年生18名
TEL : 06-6702-1231

実施日

令和5年10月26日(木)

実施場所

大阪府立東住吉総合高等学校

実施団体・企業

建設専門工事業雇用推進協会
大阪府大阪市城東区成育1-3-9-402
TEL : 06-6180-3260



実施内容

住環境系列の生徒を対象に造園と左官の出前授業を実施した。開始にあたり建設業の全体像と、体験する作業がその全体の中でどのポジションなのかについて説明を行った。その後新入社員と仕事についての意見交換を行った。作業体験では、校庭植栽の剪定作業、高所作業車への乗車や、改修工事中の屋外トイレの床吹付作業を行った。最後に教室に戻り本日の感想や質疑応答を通して業界への理解を深めた。



生徒感想

職人技を近くで見ることができ、職業選択の幅が広がりました。

仕事内容を目の前で見たり体験できたことで楽しさや理解が深まりました。

暑い中でも寒い中でも一つ一つの作業を丁寧にすることの大切さがわかりました。



団体・企業からのコメント

今回の出前授業は、学校の建物の一部の改修工事と校庭の剪定作業を施工体験学習として経験してもらいました。また、新入社員との意見交換を通し

て仕事に対してより深く理解するとともに身近に感じてもらえているように思います。



学校・教諭からのコメント

学校内では学ぶ事、見る事の出来ない技能系職種に関わる実習を体験する事ができ、生徒からはとても好評で、就職を希望する生徒の理解不足、ミス

マッチ防止にもつながるため、教員としてもとてもありがたいと思います。

空調用冷媒の回収作業体験と環境問題について



受講生徒

神奈川県立藤沢工科高等学校 総合技術科3年生36名
TEL : 0466-43-3402

実施日

令和5年7月13日(木)

実施場所

神奈川県立藤沢工科高等学校

実施団体・企業

神奈川県空調衛生工業会
神奈川県横浜市中区海岸通4-18
TEL : 045-201-9536

実施内容

総合技術科3年生を対象として空調用冷媒の回収作業体験と環境問題についてのレクチャーを実施した。

実際の回収作業は「冷媒フロン類取扱技術者」の資格が必要であるが、間近での回収作業を見ることができ、使用機器の取り扱いや接続、数値の読み取り等を間近で体験することができた。

また、背景にある環境問題を学ぶことにより、この業種、職種の重要性を認識した。



生徒感想

授業でやっている内容と、講演の内容が繋がったりすることで理解が深まる瞬間がたまりませんでした。

ヒートポンプの冷媒を取り除く作業が思った5倍ほど長いことに驚きました。

実習形式で現物を見ることができ、授業で習ったことと結び付けられて理解度も高まりました。



団体・企業からのコメント

空調衛生工事が快適な住環境の提供のみならず、地球温暖化防止など地球環境の保全に深く寄与していることを、若い人たちに直接お伝えする機会を

得たことは大きな成果だと感じています。
こうした事業を今後も継続できることを期待しています。



学校・教諭からのコメント

教科書だけではイメージできない分野も、専門職の方による出前授業により、実体験を交えたご指導をいただき知識理解の一層の深化が図れました。

また業界や職種の話など、実際の業務に携わっている方からのお話は卒業後の進路を考える大きな一助となったと思います。

左官、塗装、板金、瓦、水道設備、大工の出前授業



受講生徒

群馬県立利根実業高等学校 土木コース2年生20名
TEL : 0278-23-1131

実施日

令和5年6月21日(水)、7月5日(水)、12日(水)

実施場所

群馬県立利根実業高等学校

実施団体・企業

一般社団法人利根沼田テクノアカデミー
群馬県沼田市利根町日陰南郷335-1
TEL : 0278-25-8852



実施内容

土木コース2年生を対象に3日間に亘り、左官、塗装、板金、瓦、水道設備、大工の出前授業を行った。

各業種の説明を受け、プロの技術を見た後で同じ施工方法を体験することにより、自分に合った仕事とは何かを発見し、就業の方向性を考える良い機会となった。

また、もの作りの楽しさ、やりがいを学んだことが何よりも大きな成果としてあげられる。



生徒感想

学校で学んだことや試験に出たものを実際に見ることができ、とても勉強になりました。

今までやったことのない業種を体験し、将来の仕事の選択肢が広がりました。

実際にやってみるととても難しく苦戦したのですが、とても楽しく出来たし優しく教えて頂いたのが楽しかったです。

卒業生が講師で来ていたのも、仕事内容や現場の雰囲気などを聞くことができました。



団体・企業からのコメント

建築の6業種を実際に体験してもらうことにより、モノづくりの楽しさや各業種の詳細、卒業生の体験談などを生徒や教員の皆様に知っていただく事が出来ました。

進路選択の際には経験したことを参考に、自らやりたい!と思えるやりがいのある進路選択をして頂きたいと思います。



学校・教諭からのコメント

土木系以外の職種を実際に体験することで幅広い進路選択につなげることができ、興味のある具体的な職種や企業名などが生徒からあげられている

ことを踏まえ、2年生夏という早い時期に進路に対する強い意識付けができることも有意義で効果的な取り組みであると思います。

閉伊川災害復旧水門JV工事現場見学



受講生徒

岩手県立盛岡工業高等学校 土木科2年生39名

TEL : 019-638-3141

実施日

令和5年11月6日(月)

実施場所

岩手県宮古市閉伊川(へいがわ)

実施団体・企業

鹿島東北事業協同組合

宮城県仙台市青葉区二日町1番27号

TEL : 022-261-9221

実施内容

岩手県宮古市は東日本大震災で閉伊川を逆流してきた津波で大きな被害を受けた。その津波による被害を防ぐため2014年から大規模な防潮水門工事の建設が進められている。

閉伊川は船舶の航行もあるため、それを妨げることが無いよう2期に分け水門工事を行うという大規模な現場であるが、今回の見学会では工事に係る全ての人がマクロの視点で現場全体を理解し、自分の与えられた目の前の仕事を進行させることの大切さを学び、また建設業の災害復旧に対しての重要性を学んだ。



生徒感想

短い時間ではありましたが、建設業について理解を深めることができました。

この水門は、津波防災に係る構造物になることを改めて知りました。

土木構造物は、地域の生活を守るシンボルとなっていることやそのスケールの大きさを実感することができました。



団体・企業からのコメント

震災復興をはじめ社会資本の整備を通じ多くの

の方々に貢献できる建設業の魅力を、現地の見学によ

り更に理解いただくことが出来ました。今後も次世代を担うの方々に発信できるよう取り組んで参ります。



学校・教諭からのコメント

今回の現場見学では、スケールの大きな建設現場を見学させていただき、土木の魅力をより感じることができました。また、現場の方から直接お話を聞くことにより、周辺へ配慮した工事の工夫や建設中

に水害が起こった場合の対処方法など、より深く現場の仕事を理解することができました。今後も生徒たちの進路決定に役立てるようなキャリア教育を実践していきたいと思えます。

新出雲市体育館建設現場、 島根県立古代出雲歴史博物館施設見学



受講生徒

島根県立江津工業高等学校 建築・電気科3年生37名
TEL : 0855-52-2120

実施日

令和5年6月29日(木)

実施場所

新出雲市体育館建設現場 島根県立古代出雲歴史博物館



実施団体・企業

島根県公共建築品質確保推進協議会
島根県松江市東本町二丁目60番地すままちプラザ2階
TEL : 0852-33-7281

実施内容

令和6年4月開館予定の新出雲市体育館建設現場と、平成19年に開館した出雲大社に隣接する古代出雲歴史博物館の施設見学を実施した。

幅広い年代、身体能力の利用者に配慮した公共施設に共通する課題に対応した設計、施工の説明を聞き、また実際に足を運んで現場体験することにより、今後の公共施設の方向性を学んだ。また、出雲大社境内から発掘された巨大な宇豆柱(うづぼしら)を見学し、古代の建築技術の高さを実感することができた。



生徒感想

大きな現場を見学することがなかったのでいい経験になりました。

女性が働きやすい環境だなと思いました。

安全・健康管理を徹底しているのもとても良い環境だと思いました。

入りたての新人さんの現場での立ち位置がよくわかりました。



団体・企業からのコメント

地域を支える重要な役割を担っている建築関係業界の魅力を知ってもらい、県内で働くイメージを持ってもらうため、工業系高校生の工事現場の見学

と紹介を継続的に行っています。今後も県内企業への入職を進めるため、工業系高校と連携し、要望に応じていきたいと考えています。



学校・教諭からのコメント

生徒たちは普段あまり見ることができない、大規模な建設現場を肌で感じる良い機会となりました。また、昨年度卒業の本校OGの方が現場に従事して

おられ、現場のやりがいや苦労話について話を伺い、生徒にとって良い刺激にもなりました。関係者の皆様、お忙しい中、このような機会をいただき本当にありがとうございました。

意見交換会



受講生徒

神戸市立科学技術高等学校 都市工学科2年生80名

TEL : 078-272-9935

実施日

令和6年2月5日(月)

実施場所

神戸市立科学技術高等学校

実施団体・企業

株式会社リブランド

大阪府吹田市南吹田1-5-21

TEL : 06-6318-0061

実施内容

都市工学科2年生を対象に、意見交換会を実施した。前半は建設業界の全体像、大手ゼネコンと地元工務店の違い、職種の説明などを行った。後半は生徒からの質問に答える形をとりながら、これから就業するにあたっての不安や心配に対するアドバイスや、資格取得の重要性についての説明を行った。



生徒感想

今まで詳しく知らなかった現場のことを実際に現場で働いておられる方から聞いてとても参考になりました。

今回の意見交換会を通して、建設業で働く魅力について改めて知り、その魅力を深めることができよかったです。進学か就職か悩んでいたけれど、中小企業に就職して、幅広く経験を積むのもいいなと思いました。

意見交換会に参加し、自分が本当に知りたいことを聞けたと思いました。また自分が会社を選ぶ上で大切なことを教えてくださったので参考になりました。



団体・企業からのコメント

工業高校が減っていく中、沢山の建設業志望の若者に接することができ、非常に勇気を頂き建設業の未来に光がさしたと感ぜられるひと時でした。この

業界は人口減少が進んでいっても絶対必要な業界だと信じていますし、そこを担う若者が育たないと日本国全体の維持発展が難しいと思います。



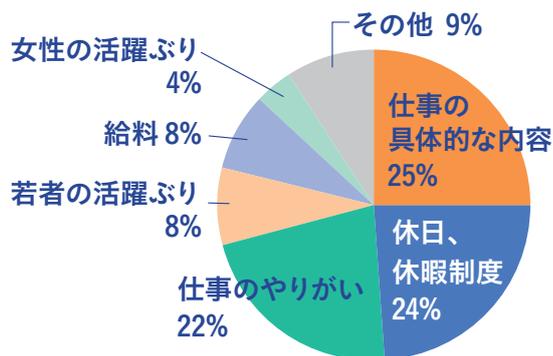
学校・教諭からのコメント

建設業界での活躍を目標に、土木・建築の専門分野を学ぶ都市工学科2年生に対して、建設業で働く

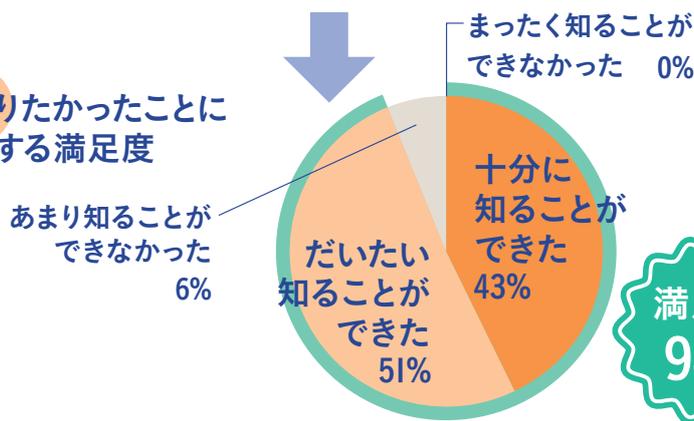
うえで必要となる心構え、早期の資格取得のメリット、実際の現場での経験などをお話いただき、大変良い機会となりました。

令和5年度「つなぐ化」事業 参加生徒アンケート結果

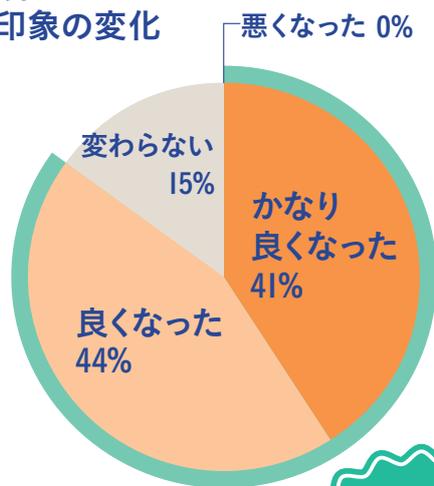
建設業界について知りたいこと



知りたかったことに関する満足度



建設業界に対する印象の変化



アンケート回答数 1,903名
※令和6年1月時点

都道府県別参加校

北海道

札幌工業高等学校

青森県

弘前高等技術専門学校

岩手県

盛岡工業高等学校
黒沢尻工業高等学校

秋田県

大曲工業高等学校
由利工業高等学校
横手清陵学院高等学校
秋田工業高等学校
大館桂枝工業高等学校
金足農業高等学校
能代科学技術高等学校
男鹿工業高等学校
小坂高等学校

福島県

会津工業高等学校
郡山北工業高等学校
福島工業高等学校
喜多方桐桜高等学校
小高産業高等学校
テクノアカデミー会津

栃木県

宇都宮工業高等学校
那須青峰高等学校
真岡工業高等学校

群馬県

利根実業高等学校
高崎工業高等学校
前橋工業高等学校

埼玉県

秩父農工科学高等学校
いずみ高等学校
熊谷工業高等学校
春日部工業高等学校
浦和工業高等学校
大宮工業高等学校

千葉県

日本大学

東京都

隅田工科高等学校
明星大学
法政大学

神奈川県

藤沢工科高等学校

富山県

南砺福野高等学校
高岡工芸高等学校
桜井高等学校
富山工業高等学校

山梨県

甲府工業高等学校
都留興譲館高等学校
青洲高等学校

長野県

長野工業高等学校

岐阜県

岐阜総合学園高等学校
岐阜工業高等学校
可児工業高等学校
岐南工業高等学校

静岡県

浜松工業高等学校

愛知県

東海工業専門学校
東三河高等技術専門学校
工芸高等学校
愛知工業大学
東海工業専門学校
名城大学
名古屋工業大学
大同大学
中京大学
名古屋工業高等学校

京都府

宮津天橋高等学校

大阪府

東住吉総合高等学校
修成建設専門学校
箕面東高等学校
東大阪高等職業技術専門学校
都島工業高等学校
西成高等学校

兵庫県

豊岡総合高等学校
姫路工業高等学校
篠山産業高等学校
兵庫工業高等学校
科学技術高等学校
尼崎工業高等学校
東播工業高等学校

鳥取県

鳥取工業高等学校
米子工業高等学校
鳥取大学

島根県

出雲工業高等学校
江津工業高等学校
益田翔陽高等学校

岡山県

岡山理科大学
岡山科学技術専門学校

広島県

広島工業高等学校
広島工業大学
近畿大学

徳島県

阿南光高等学校

香川県

香川大学

福岡県

九州大学
福岡大学

長崎県

長崎大学
島原工業高等学校
長崎工業高等学校

熊本県

熊本大学
玉名工業高等学校

大分県

日田林工高等学校
鶴崎工業高等学校

宮崎県

宮崎工業高等学校
宮崎情報ビジネス医療専門学校

鹿児島県

鹿児島大学

計

